

「来年も住民の心癒す桜、美しく咲いてほしい。」

黒川堤防を美化作業



狩尾1区（坂梨鐵男区長）の北側に流れる黒川堤防沿線には、区民が植えた200本の桜があります。その桜にテングス病が見られ始めたため、狩尾1区では20年ほど前から毎年、消毒や枝切り等の奉仕作業に取り組んでいます。

今年も5月10日から二日かかりで、坂梨区長ほか、区役員の田中勲さん、松永元吉さんが作業を行いました。坂梨区長は「手入れをして桜を大切にするなど、先人たちが作った環境美化運動を今後も区民の皆さんと継続していきたい」と話されました。

童謡や唱歌を歌い、日本のすばらしさを伝承

「あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館」活動



阿蘇神社前のうなり茶屋2階の「あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館」では、毎月第4土曜日に、地域に伝わる伝統文化の伝承活動が行われています。

4月28日は、古閑貞雄さん（90歳、古城3の2区）の指導で「わらじづくり」が行われたほか、昔懐かしい童謡や唱歌を歌う催しも初めて実施。

指導に元音楽教師の小佐井浩子さん（熊本市）を迎え、日本のすばらしい文化が参加者の歌声とともに伝承されました。歌の催しも今後毎月行われますので、皆さんぜひご参加ください。次回は6月23日です。

キャンプのシーズン到来！

坊中野営場で安全祈願祭



阿蘇登山客にも人気の「坊中野営場」で、4月25日、安全祈願祭とキャンプ場開きが行われました。祈願祭には関係者約50人が参列。利用者代表として毎年8月第1土日にイベントを開催している九州三菱自動車販売株式会社も参列し玉串を奉納しました。

坊中野営場は県が市に委託し運営。九州で1,2の広さを誇り600人収容の常設テントを完備。夏目漱石の小説「二百十日」の舞台になった所でもあります。※その他、阿蘇市内のキャンプ場については市のホームページをご覧ください。

放牧地のない農家の牛を受託し草原活かす

狩尾牧野、跡ヶ瀬牧野



狩尾牧野での安全祈願祭の様子。

熊本県畜産農業協同組合では「熊本型放牧」として、放牧地を持たない農家の牛（繁殖牛）を阿蘇の牧野組合に預け、飼料代や世話する労力を削減し、また、これらの牛を受け入れる牧野の活性化及びその結果つくられる草原の景観維持に取り組んでいます。

現在県内では、狩尾牧野、跡ヶ瀬牧野の2ヶ所が受託。今年も4月24日から「熊本型放牧」が始まり、城北・城南地域の農家が次々と牛を草原に放ちました。同日は、放牧期間中の安全祈願祭と預託・受託農家との意見交換会も行われました。



《テーマ：最近、一番感動したことは？》

たけのこをたくさん取った。お母さんの作ったたけのこごはんおいしいな。

（古城小4年・井 悠夏）

広報あそ  
2012.06

## 伝統芸能「神楽」で国際交流

韓国安城市から親善交流訪問



韓国の首都ソウルの南に位置する安城市<sup>アンソン</sup>から、安城市議会副議長を務めるユ・ヘオク氏をはじめ、外国人の定住化などを支援する世界フォーラム安城支部女性会員など20名が、国際交流を目的に5月16日、阿蘇市を訪れ親善交流を図りました。

一行は阿蘇市の観光地や農業施設を見学した後、市役所を表敬訪問し、今回の交流に協力された家入正宣氏（桜町）の案内で、横堀岩戸神楽保存会による神楽公演<sup>チェジュ</sup>を観覧しました。「阿蘇市は韓国の済州島の景色に似ている。神楽の舞も大変感動した」と、ユ・ヘオク氏は大変満足した様子でした。

## 子どもの日に乗馬をプレゼント

青少年健全育成市民会議の取り組み



子どもの日に子どもたちが喜ぶ催しをと、阿蘇市青少年健全育成市民会議（安部武夫会長）は、昨年に続き、内牧ファミリーパークあそび横の中央公園で、無料の乗馬体験を実施しました。

10時の開始からたくさんの親子づれが集まり、乗馬を楽しみました。コースは河川に囲まれた芝生広場で、馬の上からの眺めも最高！担当した乗馬クラブ夢☆大地グリーンバレーのスタッフによると330人の子どもたちが利用したということです。

## 世界の阿蘇から交通事故死ゼロを目指して

阿蘇神社周辺で交通安全パレード



阿蘇警察署と阿蘇地区交通安全協会（岩下哲三会長）は毎年、春の全国交通安全期間中「交通安全阿蘇の集い」を実施しています。今年は趣向を変え阿蘇神社周辺において交通安全パレードが行われました。

4月7日、市役所駐車場で表彰などを行った後、交通機動隊の白バイを先頭に、県警音楽隊の軽快なマーチに合わせて、カラーガードが演技する中、交通関係団体の皆さんがプラカード等を持ち「世界の阿蘇から交通事故死ゼロを目指しましょう」と市民の皆さんに呼びかけました。

## 阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会

本年度も教育・啓発活動を推進



平成24年度阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会が5月25日、阿蘇いこいの村で、関係者約130人が参加し開催されました。総会では昨年度の事業報告及び決算、本年度の事業計画（案）などが提案され承認されました。

同協議会は、行政、企業関係、学校関係者などで構成され、同和教育をはじめとするあらゆる差別の解決、人権意識の普及高揚を図るため、教育・啓発活動の推進を目的に設置されています。

総会後には、研修会として、啓発映画「私の中の差別意識」が上映されました。